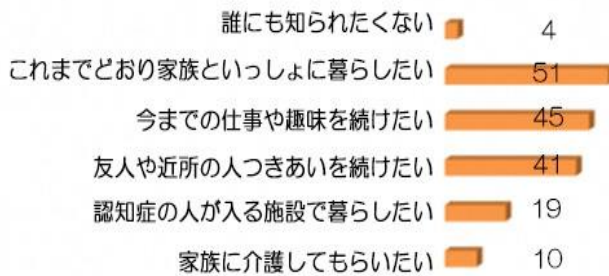


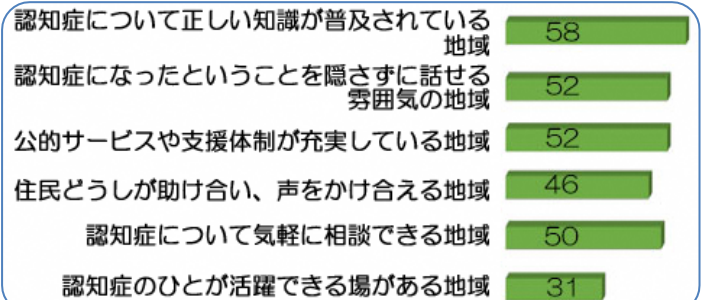
認知症になっても誰もが安心して暮らせる地域をめざして！

8月、まいてフェスタにおいて認知症に関するアンケートを実施しました。

もしあなたが認知症になったらどうしたい
(どうしてもほしい)ですか
(複数回答可) 有効回答者数：60名



あなたや家族が認知症になっても安心して
暮らせる地域とは、どんな地域だと思いますか
(複数回答可) 有効回答者数：60名



多くの方が、認知症になっても住み慣れた場所で暮らし続けることを望んでいます。その為にも認知症に関して正しい知識を普及啓発していく必要があります、一人でも多くの人に理解していただけるようにオレンジロードつなげ隊の活動を今後も続けていきます。

～世界アルツハイマー一月間の取り組み～

9月の世界アルツハイマー月間において、舞鶴・綾部の各所で啓発活動を実施しました。



～オレンジロードつなげ隊の啓発活動～

*世界アルツハイマーデー(七日市公会堂)での啓発状況

9月21日に七日市公会堂で開催された、舞鶴市主催の西地区合同カフェにおいて、認知症啓発活動を行いました。



*在宅医療推進映画上映会(綾部市)での啓発状況

令和5年11月18日(土)、綾部市ITビルで綾部医師会主催の映画上映会「～在宅医療を知ろう～」の会場入口付近にて、参加者の皆様にチラシ等配布する啓発活動を実施し、100名の方にチラシを届けました。

映画は介護現場で働く人たちが、人生に前向きになる心温まる内容でした。



ご存知でしたか？

ユマニチュード(認知症ケア技法)

ユマニチュードとは、あなたを大切に思っていることを相手に伝える技法のことです。

- ・見る : 親しみのある距離感で水平に目を合わせる
- ・話しかける : ゆっくりと穏やかに
- ・触れる : やわらかく(手のひらを使って優しく撫でる)
- ・立つ : 骨粗鬆症や筋力低下を防ぐ目的で、相手の方の能力に応じて立位でのケアを取り入れる

ユマニチュードを実施することで、認知症患者の態度が柔らかくなり、攻撃的な言動や行動が減ったりするという効果があります。



オレンジロードつなげ隊 新隊員紹介 No. 11



自分が認知症になった時の事を考えるとすごく不安になります。家族が分からない、家分からない等々分からない事だらけ、不安ばかりが募ります。地域の方の声掛け、お手伝い、その人の気持ちになって考える、そんな何でもない行動が認知症の方を安心させます。

以前グループホームを訪問した時、利用者職員が一つの家族の様な暖かい感じを受けました。

オレンジロードつなげ隊に参加して認知症の事をもっと知り、本人・家族・地域の方々に少しでもお役に立てることができればと思っています。



この度、オレンジロードつなげ隊のメンバーとして、認知症の正しい理解の普及啓発活動に参加させていただきます。

この活動を通し、自分自身認知症についての理解を深め、より多くの方に認知症について正しく理解していただけるように取り組んでいきたいと思っています。

認知症を患われた方とその家族だけではなく、地域での支え合いが必要不可欠だと思います。

また、この活動をより多くの方に知っていただけるよう、少しでもお役に立てればと思っています。よろしくお祈りします。

－ 編集後記 －

昨年新型コロナが5類に移行してマスクの着用者が減少傾向にある中で、年始早々の震災により、被災地における衛生環境を考えると、コロナの感染予防等、感染症対策が大切だと感じます。

また、要介護者の中でも、特に認知症の方への対応がまだまだ浸透されていないように感じます。

その為にも、少しでも多くの方に認知症を正しく理解していただくために、今後も啓発活動を続けていきます。

《編集担当班》

発行：中丹東オレンジロードつなげ隊

【事務局】

京都府中丹東保健所

保健課 地域包括支援係

中丹東オレンジロードつなげ隊

心でつなく、地域でつなぐ
“認知症”

認知症になっても安心して暮らせる
社会の実現をめざしています